0歳児年間指導計画

年間目標		○保育教諭との安定した関わりのなかでゆっくりと過ごし、保育教諭とのふれあいを喜ぶ。										
		7か月	8ヶ月	9ヶ月	10ヶ月	11ヶ月	1歳	1歳3ヶ月	1歳6ヶ月	1歳8か月	1歳11か月	2歳
子どもの発達過程	食事	○いろいろな味に慣れる		○形あるものは、手づかみで食べる		○手づかみが多いが、スプーンやフォークをもって食べる。			○こぼしながらもスプーン・フォークを使って自分で好きな物から食べる。（順持ち）		○好き嫌いが増え、食べる量も個人差が出る。	○スプーン、フォークが逆手持ちになる。
	排泄	○姿勢を自由に変えたがり、おむつ交換を嫌がる子もいる						○排尿の感覚が長くなり、1回の量が多くなる				○排泄した事を知らせようとする
	睡眠	○午前と午後の2回寝が多くなる				○概ね午後1回の睡眠で足りるようになる		○睡眠時間が一定になる				
	身体動き	○お座りをする		○四つばいで移動する	○つかまり立ち、伝い歩きが始まる			○一人で立ち上がり歩く	○小走りをする	○ジャンプしたりする（10センチ程度） ○記憶力がアップする。	○殴り書きをする	○手先が器用になる ○見立て遊びをする
	反応	○手で玩具を持ち替える		○指でつまめる			○両手で物を投げたり拾ったりする。		○指先を使った遊びをする（たたく・引くねじるなど）			
	言葉	○あやされるとそれに応じ、声を発する		○簡単な言葉の意味がわかり、動作で表す（ちょうだい、バイバイなど）			○片言（ワンワン、マンマ）を言う		○したいこと、して欲しいことを片言やしぐさで伝える	○欲求を言葉で伝える	○身近な保育教諭や子どもに関心を持ち関わろうとする。	○2語文を話すようになる
	感情	○人見知りが始まる			○大人の真似が上手くなる			○友達に関心を示し、持っている物を欲しがり取ろうとする。		○所有欲が強くなる		○自我が拡大する
ねらい・内容		○お部屋の環境や保育教諭に慣れる。 ・自分が安心できる保育教諭を探したり、お気に入りの玩具を探し遊ぶ。 ○保育教諭に世話をしてもらう心地よさを味わう。 ・オムツを替えてもらったり、欲求を満たしてもらい安心する。		○興味ある玩具を使って一人遊びを楽しむ。 ・絵本や玩具、身近な生活用具を見たり触れたりして、身の回りのものに興味や好奇心を示す。 ○お座り、はいはい、つかまり立ちを十分にしようとする。		○保育教諭と同じものを見つめたり、指さしをしたりして要求を伝えようとする。 ・興味ある物を指さし「あー」「かー」など発語がある。 ○伝え歩きをして移動を楽しむ。 ・手押し車や段ボールを押して歩く。		○保育教諭の元安心して自分の感情を出す。 ・怒る、喜ぶ、照れる、嫉妬する等様々な感情を表に出す。 ○歩きたい欲求を満たす。 ・園庭等で広くて安全な場所で自由に歩き回る。	○なんでも自分でしようとする意欲が出る。 ・身の回りの事をしようとする。 ○歩行が安定し、坂道や砂利道色々な所を歩くことを楽しむ。 ・築山や固定遊具に興味が出て実際に登ってみる。	○身近な保育教諭や子どもに関心が出る。・近づいて行き関わりを持とうとする。 ○身の回りの様々な物を使って保育教諭と「○○のつもり」を楽しむ。 ・絵本やままごと積み木等を使って遊ぶ。	○いろいろな歩行を楽しむ。 ・後ろ歩き、跳ぶ、登る、降りる等全身を使った遊びをする。 ○感じた事、思った事を言葉を使って表現しようとする。 ・自分が話したい事を近くにいる保育教諭やお友達に話しかける。
保育教諭の援助・配慮		・遊びそうな玩具を用意したり、微笑みかけたりあやしたりし、安心してもらえるようにする。 ・おむつは汚れたら優しく声をかけながらこまめに取り替え、汚れた時の不快感やきれいになった時の気持ちよさが保育教諭からの言葉かけによって分かるようになるので、きれいになる心地よさなどを話しかけながらおむつ交換をする。		・手指の感覚を育めるように、つかんだり、容器から出し入れして楽しめる玩具を用意。飲み込んでしまわないように大きさに注意する。 ・新しい事が出来た時は「すごいね」「上手ー」等優しく声を掛ける。		・指をさした方を向いて、一緒のものを見て言葉かけをしたりする中で、共感してもらううれしさを味わえるようにする。 ・保育教諭が実際に目標になり「こっちだよー」等声を掛け歩く意欲を高める。		・怒る、喜ぶ、照れる、嫉妬する等の行動や心の動きを理解し、受け入れたり共感したりして、安心して様々な思いをだせるようにする。 ・子どもが一人で歩いている時は、転倒に注意しながら見守り、自分で歩く場所と時間を保障する。	・自分でする気持ちを受け止め出来るだけ手を出さないようにする。 ・平らなところだけではなく段差、築山に誘い歩くことを楽しめるようにする。	・保育教諭も一緒に遊びに入り子どもの中の「○○のつもり」を広げ、ごっこ遊びの芽生えを養う。	・子どもの動きにあわせて遊ぶことで意欲を引き出していく。 ・子どもの伝えたい気持ちを先取りしないように待ち、相槌をうったり子どもの気持ちを察したりして、自分から表現しようとする気持ちを受け止める。
環境構成		・子どもが興味を示す玩具、又、握りやすい大きさ、見つけやすい場所に置き、遊びやすい環境をつくる。		・はいはい等で動き回っても危険のないように整える。		・指をさした方を向いて、一緒のものを見て、言葉かけをしたりする中で、共感してもらう嬉さを味わえるようにする。 ・転倒しても怪我をしないように柔らかいマット等を敷いておく。		・子どもが歩きそうな場所に危険物が無いか確認する。	・思いを受け止めてあげる時間を作る。	・見立て遊びが広がりそうな玩具（人形、まま事、積み木）を用意する。	・行動範囲が広がっていくので安全面に配慮する。
行事		1期（4月、5月） ・入園式　・クラス別懇談会　・児童健康診断		2期（6月、7月、8月） ・春の遠足　・保育参観　・芸術鑑賞				3期（9月、10月、11月、12月） ・運動会　・秋の遠足　・クラス別懇談会　・児童健康診断			4期（1月、2月、3月） ・保育参観　・修了記念写真撮影　・節分　・クラス別懇談会　・お別れ会	